

又云古人名唐名相通名等、三善清行、居逸田忠臣達音紀長谷雄發昭源順真璣慶保胤安澤法周達幸藤明衡安蘭江匡房綱昌

〔大日本史百列傳三十四〕三善清行、略○申按江談抄、清行、又名居逸、清行居逸、音訓相近、猶呼紀長谷雄爲紀發昭、田忠臣爲田達音之類也。

○按ズルニ、居逸ハ、キヨユキト讀ムベシ、逸ヲユキト云フハ、四質ノ韻、開轉喻母四等ニ屬シ、也行ノ定位ナレバナリ、四質ノ字ノ韻ヲキト云フハ、筆箋ノ策ヲリキト云ヒ、一匹ノ匹ヲヒキト云フ例ナリ、又行ヲイキト云ハズシテ、ユキト云フハ、敏行ヲトシユキト云フ等ノ例ニ依ルナリ、

〔続苑日涉二〕反名

此方人多是雙名、國讀頗煩、古人或有取上下二音呼之者、謂之反名

〔年山紀聞三〕反名

公卿補任云、大伴宿禰旅人、天平二年十月朔、任

大納言改名談等

今接名をあらためられしとあるは誤なり、旅人を淡等とも多比等ともかゝれたるは、史を不比等とかき、馬飼を宇合など書れたる類にて反名なり、此反名の事、その比はやりたりと見ゆ、万葉第五、天平元年十月七日に、大伴淡等謹狀とあり、二年元年の字にそのうへ續日本紀聖武紀に、旅人薨とあれば、始終あらためられぬ事明らかなり、反名といふ事を知らぬ人の所爲なるべし、又安積覺字覺兵衛より文の次で、中古にも、紀長谷雄を發昭とかき、三善清行を居逸と書申されて候。

〔古今著聞集序〕子時建長六年應鐘中旬、散木士橘南袁、愁課小童、猥叙大較而已、

○按ズルニ、古今著聞集ハ、橘成季ノ著ニシテ、コニニ南袁トアルハ、成季ノ反名ナリ、